

# 公益財団法人MSD生命科学財団

## 令和3年度事業計画書

### I. 概況

当財団は、旧万有製薬株式会社（現MSD株式会社）のCSRとして始まった活動を、より継続的・発展的に運営するために平成14年に設立されました。生命科学の研究の推奨及び助成とともに、国際交流を担うべき人材の育成に関する事業として、研究者への研究/留学サポート、研究者育成に繋がるシンポジウムの開催等の活動を行っております。（平成23年4月に公益財団法人の認定取得、平成28年10月に財団名称を変更）

令和3年度は、引き続き医学分野では4領域の研究助成をメインとした活動、有機化学分野では前年度同様の助成活動を行ってまいります。具体的な事業計画は、次のとおりです。

### II. 事業計画

#### 1. 医学分野

##### 1-1 研究助成

（当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。）

これまでのプログラムを継続し、日本国民の死因トップ3に着目した、がん領域、生活習慣病領域、感染症領域、呼吸器・アレルギー領域に対する研究助成を行う。加えて、研究者のライフイベント（出産・育児・介護）を配慮し研究の継続を支援する。

#### ➤ **がん領域** … 平成29年度より継続

- 1) 目的： 国民の死因第一位である悪性新生物（がん）に対する治療の進展・発展に貢献できる研究への助成を通して次世代を担う若手研究者の育成を支援する。
- 2) 研究課題： 医学系におけるがんに関する独創的な基礎研究または臨床研究
- 3) 募集対象： 【若手研究者】 国内においてがんに関する研究を行う 満40歳以下の者（M.D.は42歳以下）  
【スタートアップ】 国内においてがんに関する研究を行う 満45歳以下の者（M.D.は47歳以下）で、平成31年4月1日～令和3年6月30日までに、日本国内で新たに講座、教室または研究室の責任者となった者

- 4) 助成内容： 令和3年度は、総額4,500万円/年を交付する。  
【若手研究者】毎年10名を上限として、各150万円/年（2年間）を助成する。  
・ 令和3年度交付者10名に1年目助成金（各150万円）を交付  
・ 令和2年度交付者10名に2年目助成金（各150万円）を交付  
（追加助成）令和元年度【若手研究者】交付者の中から、2年間の成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者を『医学奨励賞「最優秀賞」、「優秀賞」』として表彰するとともに、それぞれ追加助成を行う。  
・ 優秀賞1名に追加助成金300万円を交付  
・ 最優秀賞2名に追加助成金（各100万円）を交付  
【スタートアップ】毎年1名を上限として、500万円/年（2年間）を助成する。  
・ 令和3年度交付者1名に1年目助成金500万円を交付  
・ 令和2年度交付者1名に2年目助成金500万円を交付
- 5) 事業活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配布ほか）、選考会/選考委員会の実施、研究助成金（研究助成、追加助成）の交付等

➤ **生活習慣病領域** …… 平成22年度より継続

- 1) 目的： 生活習慣病関連の研究に助成を行い、日本の内科系基礎・臨床分野における研究進展と優秀な人材の育成を支援する。
- 2) 研究課題： 生活習慣病領域の疾病の原因解明と新たな治療法の開発
- 3) 募集対象： 【若手研究者】国内において生活習慣病（循環器分野、糖尿病／代謝分野）に関する研究を行う 満40歳以下の者（M.D.は42歳以下）  
【スタートアップ】国内において生活習慣病（循環器分野、糖尿病／代謝分野）に関する研究を行う 満50歳以下のM.D.研究者で、平成31年4月1日～令和3年6月21日までに、日本国内で講座、教室の教授（主任教授）に新たになった者
- 4) 助成内容： 令和3年度は、総額4,400万円/年を交付する。  
【若手研究者】毎年16名を上限として、各100万円/年（2年間）を助成する。  
・ 令和3年度交付者16名に1年目助成金（各100万円）を交付  
・ 令和2年度交付者16名に2年目助成金（各100万円）を交付  
（追加助成）令和元年度【若手研究者】交付者の中から、2年間の成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者を『万有医学奨励賞「最優秀賞」、「優秀賞」』として表彰するとともに、それぞれ追加助成を行う。

また、万有医学奨励賞第 10 回記念として、令和 3 年度に限り「特別賞」を設け、追加助成を行う。

- ・ 最優秀賞 1 名に追加助成金 200 万円を交付
- ・ 優秀賞 3 名に追加助成金（各 100 万円）を交付
- ・ 特別賞 2 名に追加助成金（各 100 万円）を交付

【スタートアップ】 1 名を上限として、500 万円/年（2 年間）を助成する。  
（2 年ごとの募集プログラム）

- ・ 令和 3 年度交付者 1 名に 1 年目助成金 500 万円を交付

5) 事業活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配布ほか）、選考会/選考委員会の実施、研究助成金（研究助成、追加助成）の交付等

➤ **感染症領域** …… 令和元年度より継続

1) 目的： 豊かな発想とそれを実現化させる熱意を持ち、感染症にフォーカスした研究を行う研究者に対して助成を行い、若手研究者の育成を支援する。

2) 研究課題： 医学系における感染症の独創的な基礎研究、臨床研究または疫学研究

3) 募集対象： 【若手研究者】 感染症にフォーカスした研究を行う 満 40 歳以下の者（M.D.は 42 歳以下）

4) 助成内容： 令和 3 年度は、総額 1,700 万円/年を交付する。

【若手研究者】 毎年 7 名を上限として、各 100 万円/年（2 年間）を助成する。

- ・ 令和 3 年度交付者 7 名に 1 年目助成金（各 100 万円）を交付
- ・ 令和 2 年度交付者 7 名に 2 年目助成金（各 100 万円）を交付

（追加助成）令和元年度【若手研究者】交付者の中から、2 年間の成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者を『医学奨励賞「最優秀賞」、「優秀賞」』として表彰するとともに、それぞれ追加助成を行う。

- ・ 最優秀賞 1 名に追加助成金 200 万円を交付
- ・ 優秀賞 1 名に追加助成金 100 万円を交付

5) 事業活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配布ほか）、選考会/選考委員会の実施、研究助成金（研究助成、追加助成）の交付等

➤ **呼吸器・アレルギー領域 …… 令和元年度より継続**

- 1) 目的： 呼吸器・アレルギー疾患の治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を支援する。
- 2) 研究課題： 医学系における呼吸器・アレルギー疾患に関する独創的な基礎研究または臨床研究
- 3) 募集対象： 【若手研究者】 呼吸器・アレルギー領域の研究を行う 満 40 歳以下の者（M.D.は 42 歳以下）
- 4) 助成内容： 令和 3 年度は、総額 1,000 万円/年を交付する。  
【若手研究者】 毎年 4 名を上限として、各 100 万円/年（2 年間）を助成する。
  - ・ 令和 3 年度交付者 4 名に 1 年目助成金（各 100 万円）を交付
  - ・ 令和 2 年度交付者 4 名に 2 年目助成金（各 100 万円）を交付（追加助成） 令和元年度【若手研究者】交付者の中から、2 年間の成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者 1 名を『 医学奨励賞「最優秀賞」』として表彰するとともに、追加助成を行う。
  - ・ 最優秀賞 1 名に 200 万円を交付
- 5) 事業活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配布ほか）、選考会/選考委員会の実施、研究助成金（研究助成、追加助成）の交付等

➤ **4 領域合同研究発表会**

- 1) 目的： 交付者に対して、専門領域でのより深い研鑽に加え、同世代あるいは異なる領域での研究者及び選考委員との交流による新しいネットワーク構築の機会を提供する。
- 2) 事業活動： 令和 4 年 2 月に、研究助成 4 領域（がん、生活習慣病、感染症、呼吸器・アレルギー）の 選考委員 及び 交付者 が参加する研究発表会を開催する。交付者による口演やポスター発表を実施し、交付者と選考委員に交流の場を提供する。
- 3) 参加対象者： 令和 3 年度交付者 53 名、選考委員 35 名程度を想定。

➤ **がん医療政策に関する研究** …… 令和元年度単年にて募集終了

- 1) 目的： がん医療の社会的価値をテーマとした具体的政策提言につながる研究に対し助成を行う。
- 2) 研究課題： 日本国内または国内外の比較において、がん医療（医療倫理、診断、治療を含む）の社会経済的な価値に着目し、がん患者の健康アウトカムの向上を目的とした政策提言に資する研究
- 3) 募集対象： 医療経済、医療制度、医療政策、社会保障政策、医薬品産業政策などを研究テーマとし実践応用・計画発信する研究室または研究グループ
- 4) 助成内容： 新たな助成金の交付はなし
- 5) 事業活動： 最終成果報告会等を開催

**1-2 海外留学助成**

（当事業は、「助成(応募型)」の事業区分に該当する。）

我が国の学術研究の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を育成・確保するため、優れた若手研究者が海外へ留学し、大学等研究機関において研究に専念できるよう支援した。

なお、海外留学助成の募集は、平成 30 年度をもって終了した。

➤ **呼吸器・アレルギー領域**

- 1) 目的： 若手研究者の海外留学を助成し、優秀な研究者の育成を図る。
- 2) 募集対象： 呼吸器・アレルギー領域の研究を行う、満 40 歳未満の研究者
- 3) 助成内容： 新たな助成金の交付はなし
- 4) 事業活動： 帰国者の報告会開催等

## 2. 有機化学分野

### 2-1 シンポジウム（学術講演会の開催並びに助成）

（当事業は、「講座、セミナー、育成」の事業区分に該当する。）

これまで各地区のシンポジウム組織委員会で検討した活動をより充実させるための計画を具体化し、実施する。

- 大津会議 … 平成 22 年度より継続
- その他 … 設立当初より継続

- 1) 目的： 講演会の開催並びに助成により、次世代を担う人材の育成や学術振興への貢献を図る。
- 2) 対象： 大学及び大学院の学生他
- 3) 事業活動： 講演会の開催並びに助成、組織委員会等企画会議の開催
  - ① 第 33 回万有札幌シンポジウム
  - ② 第 32 回万有仙台シンポジウム
  - ③ 第 31 回万有福岡シンポジウム
  - ④ 第 25 回名古屋メダルセミナー
  - ⑤ 第 12 回大津会議
  - ⑥ 第 3 回大津会議合同研究発表会（4 年に 1 度開催）

### 2-2 Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA

（当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。）

- Lectureship Award MBLA … 平成 16 年度より継続
- Chemist Award BCA … 平成 21 年度より継続

- 1) 目的： 優秀な研究者を選抜し研究交流の機会を与えることにより、有機合成化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 募集対象： 有機合成化学及びその関連分野 満 40 歳未満の研究者
- 3) 助成内容： 優秀な若手研究者を「Lectureship Award MBLA」1 名、「Chemist Award BCA」5 名程度選出し表彰する。  
「Lectureship Award MBLA」受賞者へは、海外（欧米）の一流研究機関を巡る講演ツアーを助成し、当財団の関連シンポジウムにおいても講演機会を与える。
- 4) 事業活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、学会誌ほか）、選考委員会の実施、海外の大学・研究機関における講演ツアーの助成等

## 2-3 KYOTO Rising-Star Lectureship Award … 令和 2 年度より開始

(当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。)

- 1) 目的： 海外の優秀な若手研究者を選出・表彰し、日本の若手研究者との交流の機会を与えることにより、国内外の若手研究者の啓発と育成を含め、有機化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 募集対象： 有機化学及びその関連分野 満 40 歳未満の研究者（令和 3 年度は欧州在住の者を対象とする）
- 3) 助成内容： 海外の優秀な若手研究者を 1 名選出・表彰するとともに、日本での一流研究機関等を巡る講演ツアーを助成する。
- 4) 事業活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ）、選考委員会の実施、国内大学・研究機関等における講演ツアーの助成等

※ 本計画書における予算額は、人件費・固定費等の共通経費並びに管理費を除く。

以上